

コンビニエンスストア販売雑誌全国調査実施結果

調査の趣旨・目的

アウェアデートDV防止プログラムファシリテーター・全国ネットワーク(通称:アウェアFネット)では、全国のコンビニエンスストア各店舗における雑誌の陳列・販売状況を調査したところ、「女性の性を商品化している雑誌等」が多く見受けられ、なかには少女やこどもを性的に描く表現も目立ち、性的搾取となるような雑誌も置かれていることが明らかになった。この調査結果をもとに、コンビニエンスストア各社に対して、店舗で働く従業員および来店する消費者への安全安心を遵守し、成人向け雑誌を含む女性や子どもの性的搾取となるような「女性の性を商品化している雑誌等」の陳列・販売中止を求める。

調査方法

1. 調査期間

2023年5月～2024年9月末

2. 実施都道府県

全国47都道府県（うちモデル地区として福岡県を選出）

3. 調査店舗数

全国469店舗（うち福岡県：282店舗）

4. 調査実施店舗

セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、デイリーヤマザキ、
セイコーマート、ローソンポプラ

*会員の居住区域を中心とした無作為による選定

5. 調査対象雑誌

女性の性を商品化している雑誌、および女性や子どもの性的搾取となるような雑誌、

著しく不快を感じる性表現をした雑誌など

（表紙において女性や子どもの性的な表現を誇張した雑誌類など）

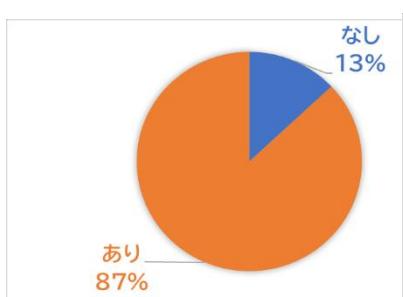
調査結果

調査項目(1) 調査対象雑誌の有無

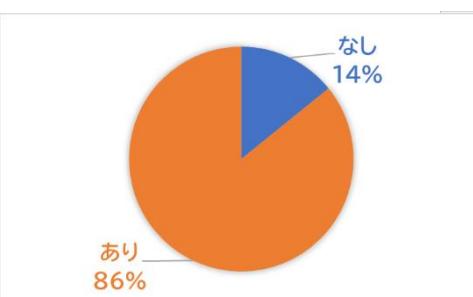
調査対象雑誌は多くの店舗において一般的な雑誌や書籍と同じ書籍棚に並べられていた。全国とモデル地区(福岡県)、モデル地区を除く他府県を比較したところ、おおむね同程度の割合で対象雑誌が置かれていた。一方で全く置かれていなかった店舗もあった。

	調査 店舗数	置かれていない店舗		置かれている店舗	
		軒数	割合%	軒数	割合%
全国	469	61	13.0	408	87.0
福岡県	282	40	14.2	242	85.8
福岡県以外	187	21	11.2	166	88.8

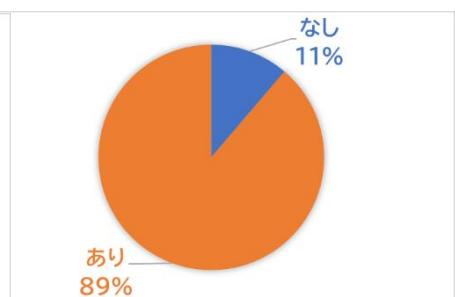
【全国】



【モデル地区:福岡県】

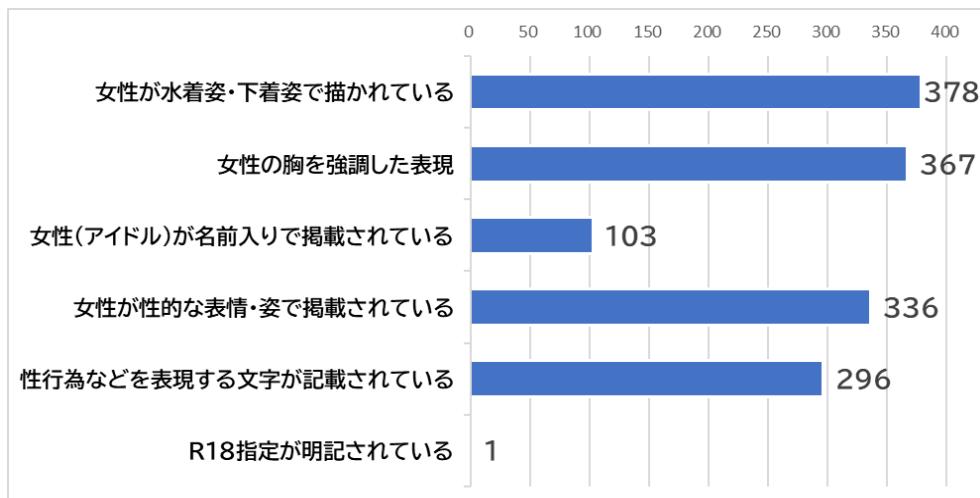


【福岡県を除く全国】



調査項目(2) 表紙の様子

「女性が水着姿・下着姿で描かれている」、「女性の胸を強調した表現」、「女性が性的な表情・姿で掲載されている」、「性行為などを表現する文字が記載されている」などの表紙が多く見受けられた。



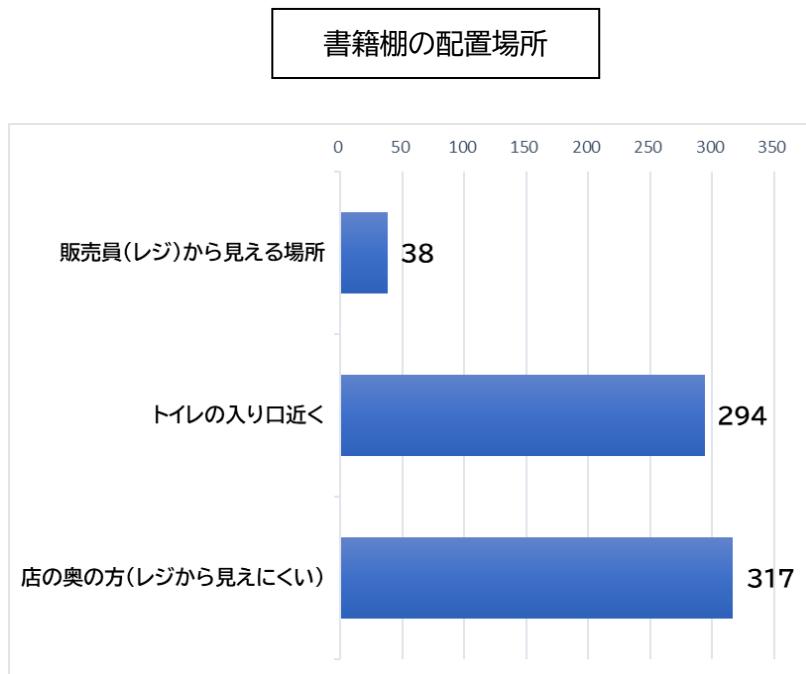
【具体的な報告(抜粋)】

- ・ 片足をあげ、ほほ全裸に近い状態にしか見えない女性が映ったものが、書籍コーナーの一番目のつく所に置いてあった。
- ・ 水着姿で胸を強調した女性の写真とともに「主婦売春」などの言葉が、否が応でも目に入った。女性の性の商品化いろいろにかたちを変えて巧妙。本当に気持ち悪い。
- ・ ちょうど視線の高さに「巨乳軍団」「熟れた人妻と遊んだ」「全裸美女たち」「極生セ○クス」などの言葉が並ぶ書籍が置いてあった。
- ・ 相変わらず、水着で胸の谷間を目立たせた女性が何十年も変わらず表紙にされていることに怒りと幻滅が湧いている。
- ・ 旅行雑誌、漫画雑誌、カー雑誌、パチンコ雑誌、などと並んで「ヤングマガジン」「フライデー」など、一見は成人誌には入らないものが混在して置かれていた。そういう雑誌が、水着姿の表紙だったり、よく見ると「大開脚ヘアヌード」「T バック」などの文言があったりで、本当に疲れる。
- ・ パチンコ関係の雑誌が非常に多く、それらに半裸体や言葉にも性表現が多くみられた。

他

調査項目(3) 書籍棚の配置場所

対象雑誌が「ある」と回答のあった店舗の書籍棚の配置場所については「店の奥の方(レジから見えにくい)」「トイレの入り口近く」にあったが多く、また、子どもたちの視野に入る場所に対象雑誌が配置されている状況が報告された。



【具体的な報告(抜粋)】

- ・ 旅行雑誌や資格取得の本などの横に性的な表現の雑誌が並んでいた。若年層が手に取り易い状況に置いてあったので驚いた。
- ・ 子どものおもちゃキャットフードなどの近くにあり、信じられないと思った。
- ・ 対象書籍の棚の下に子ども用の本が置かれてある。あまりにも無神経では？と思った。
- ・ 少年ジャンプ等と混在して置いてあるのが以前より悪くなった点ではないか。その無神経さに驚くと同時にムカついてくる気持ちになる。
- ・ 手前の段には女性雑誌、隣はコミックというレイアウトで、いちばん上から3段ほどが、対象書籍であった。
- ・ 書籍の数は少なかったが、工口い本が一番多くてびっくり。書棚の上には、ファミリーマート限定おもちゃ(女の子向け)や男の子向けのおもちゃも並べてあり、棚の下のはぬいぐるみも置いてあった。その感覚を疑った。
- ・ 3件まわった。どこも、それなりに成人誌が置かれていて、驚いた。
- ・ 少年マンガ、青年マンガはアイドルの水着姿が表紙となり、売れ筋のマンガ類が発売日などに一挙に 10 冊並ぶと店内の雰囲気にまで影響が出る。成人誌ではなくても、表紙の与える影響は大きい。
- ・ 今の時期は、青年マンガ成人マンガは表紙が水着だらけ。ざっと 90 種ある書籍の5分の1が女性の胸が強調されている表紙。
- ・ 今年度の男女参画審議会の報告ではコンビニにはこのような雑誌は置いていないと報告を受けていたので、こんなに沢山あって驚いている。

他

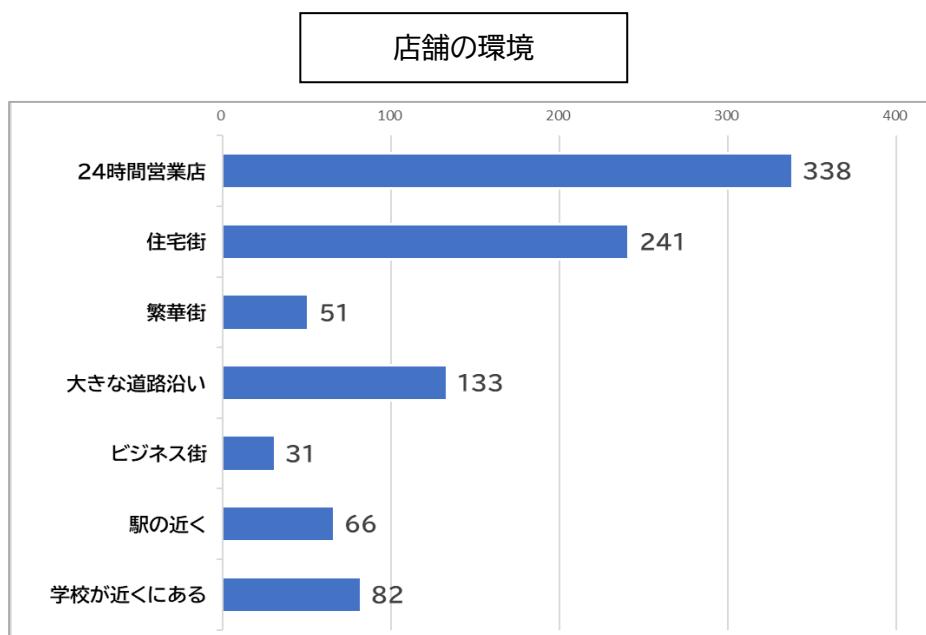
某コンビニエンスストアの本棚の状況



*小さな子どもの目線やおもちゃの下に陳列されている対象雑誌類

調査項目(4) 店舗の環境(営業形態・立地等)

調査対象雑誌が「ある」と回答した店舗の環境については、24時間営業の店舗が多く、住宅街や大通り沿い、駅や学校の近くなど、多くの人が利用しやすい場所、さらに子どもたちの利用しやすい生活圏内が多いことがわかった。



【具体的な報告(抜粋)】(原稿のまま記載)

- ・ 道を挟んで隣には中学校、斜め向かいには小学校がある通学路にある店舗で、周りには店が無くて子ども達も立ち寄ることが多い。長い街道沿いにあり、とても大きな駐車場がある為、トラック運転手さんの休憩所にも利用されている。
- ・ 中学校を挟んで、大通り側にセブンイレブン、住宅地側にファミマがある。セブンイレブンには成人誌専用棚と目立つ仕切りがあり、ファミマは他の雑誌と混在。こちらの店舗には2度と寄りたくないと思った。
- ・ 道を挟んで、警察署と私立の中学校があるところ。警察署に最も近いコンビニにも置いてあることがいやな気持になった。
- ・ ニーズは入院患者のためなのか？病院内(のコンビニ)に性暴力ワンストップ支援センターがあることへの矛盾を感じている。
- ・ 以前は過激な成人雑誌がこれほどの数は置いていなかった。久しぶりに訪店して驚き。それも過激な内容のものは最下段に隠すように平置きで、手が届きにくい最上段にも立てかけてあった。24時間営業の住宅街のこの辺りにあるコンビニとしてはかなりまずいと感じた。

他

調査項目(5) 調査実施者から報告された意見・感想

調査実施者から 212 件という多くの意見や感想が寄せられた。

対象雑誌が陳列状況に対しての気持ちや感情について 99 件の記載があった。

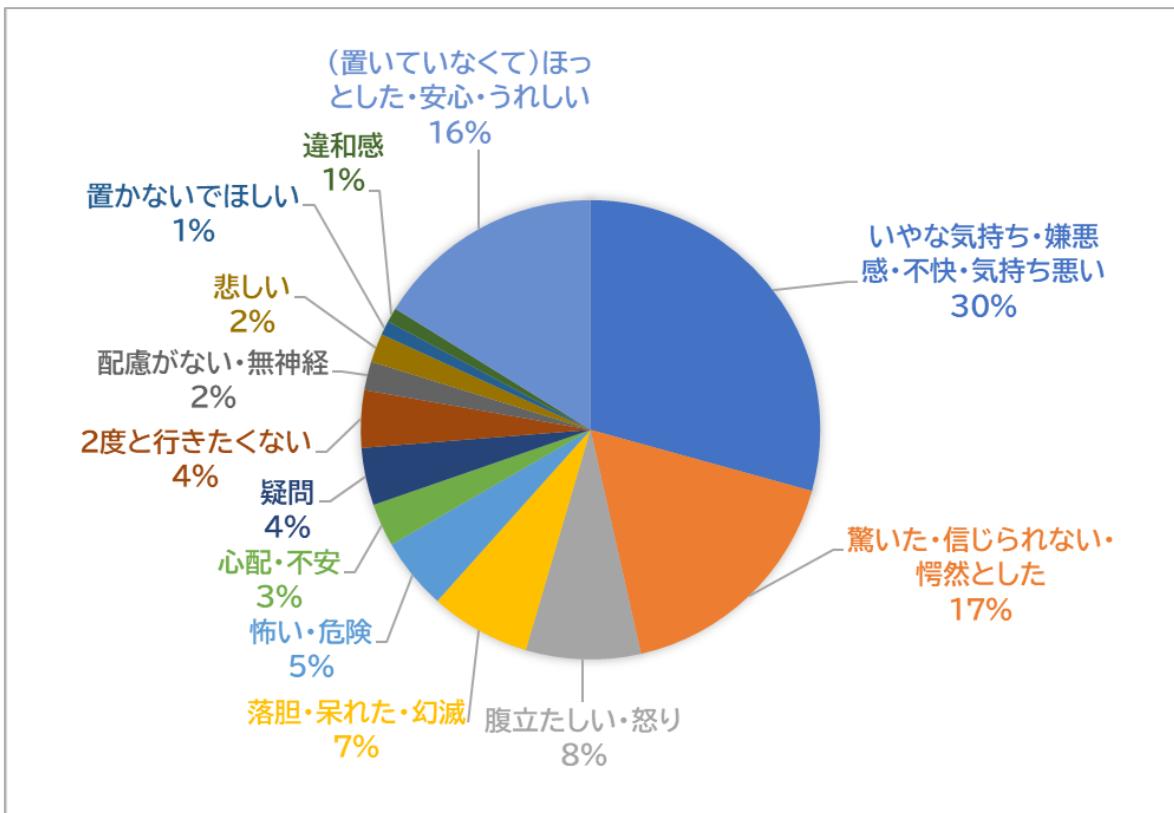
対象雑誌が陳列販売されている状況についての気持ちや感情は、下記の内容が多かった

- ① 「いやな気持ち・不快・嫌悪感・不快・気持ち悪い」
- ② 「驚いた・信じられない・愕然とした」
- ③ 「腹立たしい・怒り」

対象雑誌が陳列販売されていない状況についての気持ちや感情は、下記の内容が多かった

「ほっとした」「安心」「うれしい」

気持ちや感情について



【具体的な報告(抜粋)】

- 結構多いと思った。半分くらいを占める。繁華街の近くだからだろうか。小さな子どもがいる親子や若い人も訪れておりいやな気持ちになった。
- 書籍の数は少なかったが、工口い本が一番多くてびっくり。書棚の上には、ファミリーマート限定おもちゃ(女の子向け)や男の子向けのおもちゃも並べてあり、棚の下はぬいぐるみも置いてあった。その感覚を疑った。
- 気持ち悪い、触りたくない。
- 若い女性が性的なアピールしている表紙を見て、女性が男性の性的モノとして貶める社会を、暮らしに身近なコンビニが作っていることに怒りが込み上げてきた。また若い女性自身もこれを見て性的な魅力を持たなければならぬとか、こんなのが女の子らしいのだと考えてしまうのではないか心配になるし、DV やデート DV、性暴力の被害者を無くす努力が簡単に踏みにじられることに悲しみを見る。
- 雑誌の表紙には、水着の女性と共に『セフレ』『ク〇ニ』『生で』の文字が出ていました。その雑誌が棚に並んでいるのを見た時には「え、おいてある…、並んでいる…。」と驚きました。

- ・ 正直な気持ち、女性を売り物にされた思いで、とても腹立しい気持ちです。
- ・ 近くにある小学校の生徒たちが多く出入りする店でもあり、ジェンダー平等の感覚は育ちにくいことだろう。
- ・ いやな気持ちになる。セクハラを考えるときに対価型か環境型で労働環境を考えるので、コンビニ店員に従事する女性(外国人のかたも多い)にも環境型のセクハラと言えると思う。
- ・ イヤだなあ、ここでも女性の性を売り物にしている。これでは子どもも目にする。こういうモノを見慣れた子どもたちはどうなるんだろうと不安になる。
- ・ 高校生も多く利用する店なので、店頭での女性を物のように扱っている雑誌の販売は控えて欲しい。隣で雑誌を立ち読みしている人もいるので、考えて欲しいと思います。子ども達を守るためにも、大人が考えていかなければいけないと思います。

他

まとめ

今回実施したコンビニエンスストア各店舗における全国実態調査では、「女性の性を商品化している雑誌等」が陳列・販売されている店舗が全体の87%もあり、その多くが来店客の目に入りやすい場所、さらには子どもの目にも触れる場所であることが判明した。この現状に調査実施者の多くが驚きや不快、怒りなどを抱いた。一方で、対象雑誌がまったく置かれていない店舗については安堵や好感的な意見や感想が寄せられた。

調査の結果から、だれもが気軽に安心して利用できるはずのコンビニ店舗において、これらの雑誌を陳列・販売していることは、店舗で働く従業員および来店する消費者への環境型セクハラであり、コンプライアンス違反である。また、世界中が取り組みをすすめ、日本もめざしているSDGsの主要目標でもある「ジェンダー平等」に逆行し、非常に深刻な問題を露呈している。コンビニエンスストア各社及び各店舗は自らの社会における役割と信頼回復のために、また、国や地方公共団体は女性や子どもの性的搾取となる「女性の性を商品化している雑誌等」の陳列及び販売を中止するよう必要な対策を推進すべきである。